

# 事例で学ぶモバイル・クラウド活用入門

田中敏夫

ビジネスで外出する機会の多い方にとって、モバイル機器の活用は必要不可欠であると考えています。今回、私が中小企業診断士として活動する中で実践しているモバイル機器の活用事例を通じて、昨今話題となっているクラウドコンピューティングの一端でもご理解いただければ幸いです。

## 【カバンの中身 (ハードの紹介)】

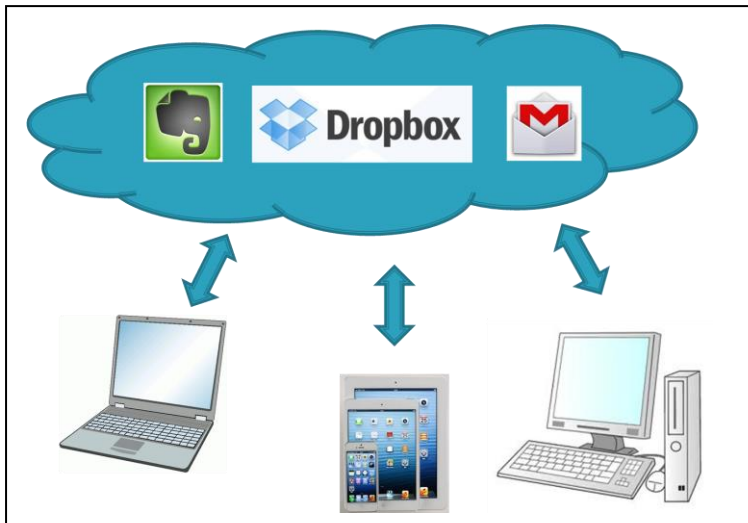
外出時には、ノートパソコン (ウルトラブック)、タブレット (iPad mini)、スマホ (iphone5)、ガラケー (ドコモお財布ケータイ)、これらに加えて、外出先でネットに接続するためのポケット wi-fi (ドコモ、バッテリー強化版)、PC用の電源、小型マウス (Bluetooth 接続)、各種充電ケーブル、をいつもカバンに一式入れて持ち運んでいます。

## 外出時のIT関連装備



## 【主な使用シーン (ソフトの紹介)】

モバイル機器を有効に使う主なソフトは、エバーノートとドロップボックス、Gメールです。ある日の利用シーンをご紹介すると次のようになります。



朝、自宅兼事務所のデスクトップ PC を起動、まずは G メールをチェックします。すると業務連絡に交じって、依頼していた書類が添付ファイルで送られてきていたので、ダウンロードし、ドロップボックスの中に作ったホルダーに格納します。

紙ベースの資料はスキャナー (Scan Snap) で PFD 化し

エバーノートに取り込んでいます。(自動的に取り込まれる設定がされています)。

ドロップボックスとエバーノートはデスクトップ PC、ノート PC、ipad mini、iphne5 間で同期されていますので、デスクトップで確認した書類はすべて、ノート PC でも ipad でも見ることが出来ます。

この様に必要な書類は全てドロップボックスとエバーノートに入っていますので、カバンの中にメモ用のノートとモバイル機器を詰めればいつでも外出可能です。今日は、早めにお客様の所に到着したので、目的地近くのコーヒーショップで、今朝届いたメールに返信をしました。ポケット wi-fi が有るので、携帯電話がつながる所であればどこでもメールチェックやインターネットの閲覧が可能です。交通機関は全てお財布ケータイに入っているモバイル Suica で予約から支払いまで行います。

帰宅後、お客様の所で ipad 上のエバーノートに書き込んだ面談メモが、自宅のデスクトップ PC のエバーノートに同期されているので、そのままワードやエクセルにコピー・ペーストすれば今日のレポートも手早く作成できます。iphone で撮った写真も自動的にエバーノートに格納されています。

訪問先でもらった資料は Scan Snap で PDF 化しエバーノートに入れます。片っ端から入れて行っても検索機能が優れて

いて、PDF の文字も検索しますので、探したい資料はキーワードで簡単に検索できます。

完全とは行きませんが膨大な紙資料を整理、整頓するうえでもクラウドコンピューティングが役に立っています。

